

CNCP 平成 27 年度通常総会報告 報 告

1. 日 時：平成27年10月31日（月）午後2時から午後3時30分まで
2. 場 所：東京都千代田区神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクエア402号室
3. 出席者数：19名+委任状13名=32名（正会員42名中）
4. 審議事項

- ・議長の選任
- ・議事録署名人の選任
- ・第一号議案 CNCP 平成 26 年度事業報告
- ・第二号議案 CNCP 平成 26 年度決算
- ・第三号議案 CNCP 平成 27 年度事業計画
- ・第四号議案 CNCP 平成 27 年度予算
- ・第五号議案 CNCP 理事・監事の選任

について、報告および質疑が交わされたが、その正式議事録については、署名捺印後追ってホームページに公表予定であるので、以下に意見、質疑を要約しておきたい。



【総会の状況】

5. 質疑・意見交換

(1) 会場からの意見（事業報告や事業計画についての改善提案に係る意見）

- ・総会参加者にとって初めて聞く話が多いので、総会では1年間に開催された委員会等も含め、活動内容の時系列な説明をわかりやすくして欲しい。
 - ・市民や市民社会にとっての安全・安心に尽くすという、地道な活動を通じて社会貢献に繋げるという志が、我々（市民）にも分かるようにしてもらいたいと希望する。
 - ・現在の活動が、このNPOが立ち上げられた際の中長期的な目標にどうつながっていくのか、対比して説明してもらえるとよく分かると思う。
- ・事業計画ではその目標を達成するために、新規事業実施やその準備・試行にも資金がいるので、繰越金の一部を予備費として事業支出予算の中に計上しておくことお必要であろう。
 - ・一定規模の事業費については、人件費、報酬等についても内訳を明確にして置くべきである。

(2) 意見に対する見解、および27年度計画の補足説明等

- ・クラウドソーシングやCNCPアワードは社会的事業としての核となっていくと考えている。
- ・パワーアップセミナーについて、地方の市町村でその課題に対応していく際に技術面だけではなく、住民や地域組織との連携・協働面をどう担っていくのかを学ぶのも重要となる。
- ・現役のエンジニアがいずれはシニアとしてNPO活動などにも関わってくるだろう際の、パワーアップ支援という視点が賛助会員へのインセンティブでもある。
- ・土木学会との関係は、それぞれ相互に会員でありCNCPは土木学会が社会的活動を行う際の実践部隊としての位置づけでもある。
- ・シビル系のNPOは小規模でパワーがないが、それらが折に触れ連携、協働力を発揮できるような場作りの役割を果たすのが、中間支援組織CNCPのミッションと考えている。
- ・それぞれのNPOが力をつけ出し、地道な活動を前面に出して社会貢献に関わっていくが、単なるボランティア組織としてではなく、社会貢献事業を行なうに必要な資金が収支として有効に回っていくということが、活動の前提となっている。
- ・2年間の協議会活動でやるべきことが議論されたが、その中で立上げ時にまずこれだけはこのが現時点での事業内容である。今後の報告ではその視点を重視したい。

6. 特別講演会（要旨については次号で紹介）

- ・演題：「まちづくりと中間支援組織」
- ・講師：田中 滋夫氏（株式会社都市デザイン代表）

（有岡常務理事記）